



生野銀山は兵庫県朝来市にあり天文 11 年（1542 年）開坑、織田・豊臣・徳川それぞれの幕府直轄鉱山として栄え銀・銅を主とした多くの鉱物を産出してきました。安土桃山時代、生野や石見銀山があればこそ銀本位体制が確立され東南アジア諸国との交易も成り立ちました。採掘―精錬加工―運搬・搬出の全行程全てが構成資産に含まれており、これは他国の鉱山ではみられない形態で素晴らしい。

また明治初期に政府は鉱山近代化の為、フランスの鉱山技師を招聘し銀山の効率化を推進しました。そして昭和 48 年（1973 年）に閉山となりました。坑道総延長 350 km 以上、深さ 880m に達します。今回は世界に誇るこの素晴らしい遺構を見学します。

#### 見学場所：

- (1) 坑道内：現在公開されている坑道内は約 1,000m、約 40 分のコースで年間を通して気温約 13℃であり掘削跡や明治以前の手掘りの実物大模型・閉山時の機械装置類などが観られます。
- (2) 坑道外：坑道坑口や露天掘りの跡等屋外散策約 30 分のコース（希望者として）
- (3) 鉱山資料館：当銀山の栄光の歴史をパネル展示などにより紹介。また徳川時代の雁木梯子、竹樋、精錬に使ったふいごを初めこの時代の銀山の様子を詳細に描いた絵巻物、坑内模型等の資料も豊富に展示、当時の雰囲気伝わってきます。
- (4) 吹屋資料館：吹屋とは銀を精錬することで各工程毎の作業の様子を 11 体の電動人形で忠実に再現。
- (5) 生野鉱物館：当銀山の歴史、採鉱・採掘・選鉱・精錬の工程、鉱山町特有の街並み、鉱山文化等のパネル展示や此処で採掘された貴重な鉱物標本、原寸大坑道模型（狸堀り）などの展示。

【実施日】：令和 7 年 9 月 19 日（金） 雨天決行

【集 合】：JR 新大阪駅 1 階（正面口）階段下 9：15（9：30 出発）2 班班員が誘導します。

【解 散】：大阪・桜橋口あたり 17：00 頃

【行 程】：新大阪駅⇒中国道福崎 IC⇒播但連絡道生野 IC⇒生野銀山（昼食・班長会議・集合写真等）⇒坑道内外散策・付帯施設等見学⇒播磨屋本店⇒中国道福崎 IC⇒大阪（桜橋口辺り）

【持ち物】：弁当、飲物、雨具類、常備薬、ハイキングスタイル、鉱山の坑道は 15℃くらいです。半袖では寒いのでパーカーなどを着て見学してください。鉱山のレストランもご利用下さい。

【参加費】：4000 円（バス代・生野銀山入場料など不足分はそら組会計から補助されます）

【参加者】：各班長さんは 9 月 7 日（日）迄に 2 班増田班長に参加者数をご連絡下さい。

\* 集金：各班毎に 9 月 12 日迄に 2 班佐々井副班長にお渡し下さい。

\* キャンセル料：9 月 15 日以降のキャンセル料は返還できません。



近代の採掘作業

縦坑用ウインチ

明治以前の採掘作業